

アリアンツGI スチュワードシップ・ステートメント

PAGE 3

背景

PAGE 4

原則

PAGE 4-5

スチュワードシップ責任の遂行

PAGE 6-7

スチュワードシップに関連する利益相反の管理

PAGE 8-9

投資先企業のモニタリング

PAGE 10-11

エンゲージメント戦略

PAGE 12

スチュワードシップ活動のエスカレーション

PAGE 13

他の投資家との集团的行動

PAGE 14-15

議決権代理行使

PAGE 16

スチュワードシップ活動の報告

PAGE 17

保証

PAGE 17

お問い合わせ

背景

アクティブ・スチュワードシップは、サステナブルな未来に向けたパスウェイ（経路）を形作るという、アリアンツ・グローバル・インベスターズのコミットメントの重要な要素です。当社は、アクティブ運用会社として、投資先企業との建設的なエンゲージメント・ダイアログ（対話）が不可欠であると考えます。また、株主の議決権行使は、受託者である当社のお客様に対する責任です。それは、投資先企業の長期的な発展に影響を与えるであろう最重要課題の一部について、前向きな変化を促すという当社の役割の中核をなすものです。

本ステートメントは、当社におけるエンゲージメントのポリシーおよびスチュワードシップのアプローチを定めるものです。その中には、当社が事業を展開する法域で適用される規制上の義務、特定のスチュワードシップ・コードの原則、ベストプラクティスの規範などを満たすために当社が講じる措置が含まれます¹。アリアンツGIは、株式、債券、マルチアセット、プライベート・マーケットの4つの主要な柱にわたって多様なアクティブ投資戦略を提供しています。

アリアンツ・グローバル・インベスターズとは、関連会社などを通じて「アリアンツ・グローバル・インベスターズ（アリアンツGI）」のマーケティング名で運営されるグローバルな投資運用事業を指します。アリアンツGIは、世界中の機関投資家や個人投資家のお客様にサービスを提供するアクティブ運用会社です。その事業は株式、債券、マルチアセット、オルタナティブの戦略など多岐にわたり、地域によってもさまざまです。

アリアンツGIには、ボトムアップのファンダメンタル・リサーチに基づく強力な投資文化があります。当社は、さまざまな投資戦略で長期投資を行っており、成長見通し、資本利益率、優れたガバナンス、市場ポジショニング、フランチャイズの質に細心の注意を払っています。さらに、長期的にアウトパフォームを目指す企業の成功にとって、環境や社会への重要な配慮が不可欠であると当社は考えます。

当社は、独自の投資哲学と投資アプローチに則り、投資先企業との対話を定期的に行い、視点の積極的な提示、必要に応じた変化の要求、そしてエンゲージメント結果のモニタリングに努めます。当社の投資見解は、エンゲージメント結果の影響を受けるとともに、議決権代理行使プロセスと連動しており、一貫したスチュワードシップのアプローチを形成しています。

1) アリアンツ・グローバル・インベスターズは2022年に英国スチュワードシップ・コード²に署名しました。また、ドイツではDVFAスチュワードシップ・ガイドラインの遵守にコミットしています。

原則

スチュワードシップ 責任の遂行

アリアンツGIのスチュワードシップ活動には、戦略、パフォーマンス、資本管理、コーポレートガバナンスと株主の権利、リスク管理、業務上の課題、監査と会計、経営者の報酬とインセンティブ、環境・社会・企業行動上の課題、透明性、情報開示など、さまざまな課題に関する企業のモニタリングとエンゲージメントが含まれます。

アリアンツGIは、自らの知識、見解、視点を、投資先企業の取締役会や経営陣と共有することにエンゲージメントの価値があると考えます。その目的は、最終的にお客様の利益のために、投資先企業のパフォーマンスを向上させ、長期的な事業見通しをより確実にする一助となることです。また、投資先企業の幅広いステークホルダー、特に非業務執行取締役と接することで、事業、戦略、バリュードライバーへの理解、そして投資先企業のガバナンス、文化、サステナビリティへのアプローチに関する知識を深め、当社の投資分析をより強化します。重要なのは、エンゲージメントはリーダーシップと監督の質を評価し、取締役会と経営陣に対する信頼と信任を構築するのに寄与するということです。

直接の企業エンゲージメントに加え、当社は、対象を絞ったテーマ別のエンゲージメントや公共政策に関するエンゲージメントを実施するとともに、業界または市場レベルでの企業慣行や情報開示の改善を目的とした協働エンゲージメントのイニシアチブに参加しています。

アクティブな投資戦略は、議決権行使からの恩恵を受けます。アリアンツGIは、投資およびスチュワードシップのプロセス、そしてお客様の資産を管理する受託者責任の中心に、議決権代理行使を据えています。当社は、コーポレートガバナンスおよび議決権代理行使の主要事項について強固なポリシーを定めており、自らの見解や立場の展開と議論に大きな努力を費やしています。当社の議決権代理行使の意思決定プロセスにおいて、ポートフォリオ・マネージャーとサステナビリティ・リサーチおよびスチュワードシップのチームが緊密に協力しています。当社のエンゲージメント活動の情報が議決権代理行使に活かされる一方、議決権代理行使の目的で行われるコーポレートガバナンス分析は投資リサーチに活かされます。スチュワードシップに対するアリアンツGIの統合的アプローチは、以下のような投資哲学、投資プラットフォームの仕組み、グローバル・コラボレーション・システム（GCS）によって可能となります。

1. 当社は、数多くの長期的なファンダメンタル戦略を手がけるアクティブ運用会社です。このため、投資先企業のパフォーマンス向上やリスク軽減を支援するために積極的にエンゲージメントを行うポートフォリオ・マネージャーが多数在籍しています。また、お客様にとって最善の利益になると考えられる場合、ポートフォリオ・マネージャーは、公共政策に関するエンゲージメントにも参加し、貢献します。
2. 当社の投資プラットフォームには、600名を超える投資専門家が在籍し、主要な資産クラスおよび地域にわたって機会を見だし、そして企業、業界、市場に影響を与える問題やトレンドへの理解を容易にするために協力しています。
3. アリアンツGIのサステナビリティ・リサーチおよびスチュワードシップの専門チームは、テーマ別リサーチとエンゲージメント戦略を担当し、「気候変動」「プラネタリーバウンダリー」「包括的資本主義」の3つの重要な戦略テーマで構成されるテーマ別アプローチを開発しています。これらのチームの基本的な役割は、ESG要素の検討において専門知識を共有し、市場が十分に織り込んでいないリスクと機会を見だし、それにより投資意思決定者のために株式の銘柄選択の強化を支援することです。スチュワードシップ・チームは、アリアンツGIのエンゲージメントと議決権代理行使の活動をグローバルに主導します。また、当社のエンゲージメントの取り組みを促進し、コーポレートガバナンスや環境・社会・企業行動上の課題に関するエンゲージメントを主導することも多くあります。さらに、スチュワードシップ・チームは、公共政策に関するエンゲージメントや、複数のステークホルダーによる集团的エンゲージメントのイニシアチブにも貢献しています。
4. アリアンツGIのグローバル・コラボレーション・システムでは、あらゆるセクター・リサーチと発行企業分析、第三者による独自のサステナビリティ・リサーチ、エンゲージメント記録などの資料を投資担当者が直ちに利用できます。これにより、当社のファンド・マネージャーとアナリストは全員、投資推奨を行ったり、ポートフォリオに組み込む銘柄を選択したりする際に、社内のリサーチやコメントを確認し、議論することが可能です。また、投資専門家によるリアルタイムのコミュニケーションを容易にすることで、効果的な議決権代理行使プロセスの実行、企業エンゲージメントに関するフィードバックの提供と収集、エンゲージメント結果の共有を支援します。

スチュワードシップに関する 利益相反の管理

アリアンツGIは、受託者としてお客様の長期的な最善の利益のために行動する義務を負います。また、自らの利益とお客様への義務が利益相反したり、あるお客様への義務が他のお客様への義務と相容れない矛盾を生じたりするような立場に自らを置かない責務があります。アリアンツGIには、当社とお客様との間、およびお客様同士の利益相反を公正に管理する規制上の義務があります。お客様の資産のスチュワードシップには、潜在的な利益相反が内部的であれ外部的であれ、それを監視し特定するための努力が要求されます。

アリアンツGIは、お客様の利益を最優先に適切なスチュワードシップを実践するため、グローバル・コーポレートガバナンス・ガイドライン、ポリシーと手続き、および従業員トレーニングを導入しています。これらは、利益相反の認識または事実が、お客様の利益を損なう重大なリスクとなったり、またはそのようなリスクを引き起こしたりするのを防ぐことを目的としています。当社は、スチュワードシップ活動に関して、以下のような主要な利益相反の可能性を特定しました。

1. アリアンツGIは、アリアンツSEの子会社です。アリアンツSEはグローバルな保険・金融グループであり、特定の事項に対する同社の利益や見解は、アリアンツGIが自らのお客様にとり最善と考えるものと必ずしも一致しない場合があります。親会社との関係に起因して生じる可能性のある利益相反関係に対処するため、アリアンツGIは、意思決定プロセスを不適切な影響から隔離し、投資判断とスチュワードシップ活動をお客様の利益に沿う形で実行可能にする目的で、厳格な管理と情報障壁を課してきました。
2. アリアンツGIの中核事業は、お客様のために資金と資産の運用を行う投資運用です。お客様のファンドに、スポンサー企業（アリアンツGIが運用する資産を提供する企業）の証券が保有されている場合、当社の商業的利益または取り決めに影響を与える可能性のあるテーマについて、当社がお客様に代わり議決権を行使したり、エンゲージメントを行ったりすると、利益相反とみなされる可能

性があります。この潜在的な相反関係は、発行企業とのエンゲージメントまたは議決権代理行使の方法および可否に関する最終的な意思決定を、当社の投資プラットフォームに委ねることで軽減されます。このプラットフォームは、そのような意思決定がお客様の利益のみに基づいて行われるようにするため、意図的に当社の他の事業部門から隔離されています。

3. アリアンツGIのお客様が、ある企業への議決権代理行使に関して、他のお客様の長期的な最善の利益と相反すると考えられる立場を主張する場合があります。このため、アリアンツGIは議決権代理行使と顧客リレーションシップの部門を明確に分離しています。
4. 当社は、当社商品の重要な販売会社に投資を行う場合があります。

その他の潜在的な利益相反は以下の通りです。

- 投資先企業が当社のお客様でもある場合
- アリアンツGIの取締役、役員または従業員が、投資先企業の取締役を兼務している場合

当社には、議決権代理行使およびエンゲージメントにおける利益相反の管理に特化したガバナンスの仕組みと、一連のポリシーおよびプロセスがあります。その概要は以下の通りです。

ガバナンス

アリアンツGIは、執行委員会（ExCo）により管理・監督されています。すべての投資事項に関して、当社のアプローチがお客様に対する義務を果たすように設計されていることを確認する責任は、当社の上級投資リーダーで構成される投資執行委員会（IEC）にあります。

コンプライアンスおよびリスク管理部門は、当社のプロセスを定期的に評価するとともに決定内容を再検討し、適切な措置を講じていることを確認することにより、ガバナンスの監視をさらに強化します。

規制の枠組みと 利益相反ポリシー

利益相反に関する当社のポリシーと手続きは、当社の行動を、適用されるすべての規制要件に沿ったものとするために策定されています。アリアンツGIを構成する各法人は、当社が事業を展開する世界中の法域において、関係する規制当局に登録され監督を受けています。当社の議決権代理行使およびエンゲージメントにおける利益相反の管理に特化したガバナンスの仕組み、およびポリシーとプロセスは、以下の要素で構成されています。

グローバルな監視 - アリアンツGIは、議決権代理行使のプロセスを監視するグローバル議決権代理行使委員会を設置しています。本委員会は、アリアンツGIとのお客様との間に重大な利益相反を生じさせる可能性のある議決権代理行使上の問題を検討・議論します。本委員会は、利益相反が特定された場合の議決権代理行使に関する決定を承認します。また、提案された議決権行使の方向性がアリアンツGIのポリシーにおける推奨から逸れている場合、内部分析に基づいて承認を判断します。その意思決定は、「アリアンツGI・グローバル・コーポレートガバナンス・ガイドライン」に基づきます。本ガイドラインは、コーポレートガバナンスやコーポレートアクションなど特定の問題に対する当社の立場をまとめ、かかる場合における当社の議決権行使について一般的な指針を示すものです。

利益相反の管理 - 当社は、ガイドラインを厳密に遵守した議決権代理行使を望まない場合があります。議決権の代理行使に関して当社とお客様の間に重大な利益相反が生じる可能性がある場合、グローバル議決権代理行使委員会が招集され、ポート

フォリオ運用チーム、スチュワードシップ・アナリスト、議案を提示した企業の経営陣、株主グループ、外部の独立した議決権代理行使サービス機関など、あらゆる関連情報源からの情報を考慮して問題を評価します。

議決権代理行使に関するその他の潜在的な利益相反は、「グローバル・コーポレートガバナンス・ガイドライン」および「議決権代理行使ポリシー」を適用して対処されます。これは、独立した第三者の議決権代理行使サービス機関を通じて実施されます。

ガイドラインからの逸脱がある場合はコンプライアンス部門がすべて文書化と精査を行い、アリアンツGIの従業員が関連するポリシーと手続きを完全に遵守していることを確認します。

部門の分離 - アリアンツGI内のプロセスと管理を分離することにより、個人のお客様または当社と取引関係にある個人が、議決権代理行使の決定において不適切な影響力を行使できなくします。議決権代理行使は、投資プラットフォームに完全に委ねられます。当社の投資専門家による議決権代理行使の決定が不適切な影響を受けないように、また顧客サービス、販売・マーケティング、その他の非投資部門に従事する個人が議決権行使プロセスに影響を及ぼさないようにするため、当社は強力なポリシーと手続きを導入しています。

トレーニング - アリアンツGIは、「倫理および企業行動規範」などのグローバルおよびローカルのポリシーを導入しています。その目的は、従業員が常にお客様の利益を最優先し、不適切に見えることさえ避けるように注意することです。それらのポリシーでは、当社の従業員に対し、利益相反の可能性をすべて開示すること、また、利益相反の可能性がある場合または利益相反とみなされる可能性がある場合に万一該当するときは、議決権行使の決定を忌避することを求めています。具体的には、特定の議決権代理行使に関して個人的な利益相反関係を持つポートフォリオ・マネージャーまたはグローバル議決権代理行使委員会の

メンバーは、自主的に担当を外れる必要があります。その議決権代理行使の決定には参加できません。当社は、少なくとも年に1度、それらのポリシーを見直し、全従業員に対し研修を行います。

管理 - エンゲージメント活動における潜在的な利益相反を管理するために、アリアンツGIは明確で透明性のある社内エスカレーション・ガイドンスを策定しました。このガイドンスは、非公開と公開のエンゲージメント活動を区別するとともに、お客様、主要サプライヤー、非政府組織、政策立案者、メディア、その他関係者とのエンゲージメントの提案に対する意思決定権限を割り当てています。集团的エンゲージメントのイニシアチブや公共政策に関するエンゲージメントなどを含む、エンゲージメント活動における潜在的な利益相反を管理するための当社のアプローチは以下の通りです。

- **関連会社:** 当社は通常、関連会社との公式なエンゲージメントを控えています。ただし、当社は、経営陣に対する反対票に関する説明や、他の投資家から提起された問題や懸念事項に対する当社の立場の説明などについて、関連会社の取締役会および経営陣に非公式にフィードバックを行う用意があります。
- **取締役および従業員:** アリアンツGIまたはその関連会社の取締役または従業員が、当社がエンゲージメントを行う企業の取締役またはアドバイザーの職務に就いている場合、当該人物はエンゲージメントまたは議決権行使から除外されます。
- **お客様および重要サプライヤー:** お客様および重要サプライヤーとのエンゲージメントに関して、当社の一般的アプローチに変更はありません。

投資先企業の モニタリング

当社の投資ポートフォリオのパフォーマンスは、投資先企業のパフォーマンスに依存します。このため、投資先企業のパフォーマンスをさまざまな側面から継続的にモニタリングすることが不可欠です。

アリアンツGIのグローバルな投資プラットフォームには、600名を超える投資専門家が在籍し、投資判断においてお客様を導くために協力しています。ポートフォリオ・マネージャーは、それぞれのポートフォリオが保有する証券の発行企業をモニタリングする責任を負います。一方、サステナビリティおよびスチュワードシップ・アナリストは、重要なESGリスクが特定されており、その対処のためにエンゲージメントが開始された企業や問題をモニタリングします。

投資先企業に関する当社のモニタリング・プロセスの対象は、以下の通りです。

- 戦略の実行、および製品やサービスの提供とその価値に影響を与える重要な進展
- 戦略および主要業績評価指標（KPI）、ならびに主要な競合他社およびより広範な業界を参照して評価される、財務業績および主要なバリュードライバー
- 資本管理の問題
- コーポレートガバナンスの慣行および少数株主との調整
- リーダーシップチーム（取締役会および経営陣）の質とパフォーマンス、後継者育成
- 環境・社会問題など、業績、株価、配当に影響を及ぼす可能性のある重大なリスク、およびその軽減策
- 会計、監査、サステナビリティの観点を含む企業報告の質、および経営陣による議論と分析の質
- 投資価値の大幅な損失につながる可能性のある、財務、業務運営、評判の各面における問題の早期発見

- ネットゼロへのパスウェイ（経路）、生物多様性関連の問題、人権の推進、その他の社会的課題を含む、サステナビリティに関する戦略、目標、実行

モニタリングは、次の方法で行われます。

- 投資先企業および同業他社による公表情報のフォロー
- 投資先企業から提供される中間決算および最終決算の発表、業績の概況、その他の情報の確認
- 年次報告書および参考資料の確認
- コーポレートガバナンスの慣行および株主との調整の確認（企業リサーチの一環で株主総会での議決権行使前に実施）
- 投資先企業の環境・社会・企業行動に関するポリシー、慣行、リスクの確認（リサーチプロセスの一環）
- 第三者によるリサーチの確認および外部アナリストや業界専門家との面談
- 投資家向けプレゼンテーションやイベントへの参加
- 経営陣やIR担当との定期的な面談
- 戦略、ガバナンス、マネジメントチームのパフォーマンスと後継者、リスク管理、データセキュリティとサイバー防御、環境・社会的インパクトの管理、企業行動、文化などに関する事項を話し合う、取締役会議長または非業務執行取締役との面談（可能かつ適切な場合）
- リサーチおよびモニタリングの過程で把握した特定の懸念事項に関しての、あるいは新たな機会を捉えるように働きかけるための投資先企業との対話

アリアンツGIのグローバル・コラボレーション・システムは、ファイル、外部レポート、リサーチ記録を、構造化され完全に検索可能な方法で投資専門家が共有することを可能にします。投資関連情報のフローと透明性を強化することで、当社は投資先企業のモニタリングをより効率化し、お客様の利益のために当社のグローバルなリソースの利点を最大限に活用します。

さらに、当社の投資専門家は、地域ごとのモーニングミーティング、戦略会議、投資委員会などで日常的な交流やオープンな対話を行っています。これらの場では、新たなニュースと、それがお客様のポートフォリオの保有銘柄企業、および推奨銘柄「ウォッチ」リストに載っている発行企業に及ぼす可能性のある影響などが検討の対象となります。

当社は、企業が価値の毀損につながる可能性のあるガバナンスの失敗を防止することを目的とした、コーポレートガバナンスのベストプラクティス基準の開発を支援します。当社は、このようなベストプラクティスの規範が対処しようとするリスクをすべての企業が考慮し、それぞれの推奨事項を採用するか、同等の効果があってもその事業にとってより適切と思われる代替の取り決めを策定し開示することを期待します。そのため、アリアンツGIは「遵守するか説明するか（comply or explain）」の原則を支持します。また、当社のリサーチおよび投資の専門家は、各ベストプラクティス規範からの逸脱に関するすべての説明を慎重に検討します。

アクティブ運用会社として、当社は企業またはそのアドバイザーから、（たとえば、その企業の有価証券の潜在的な取引に関する「マーケットサウンディング」を通じて）重要な非公開情報を受け取る場合があります。アリアンツGIは、そのような情報を受け取らないようにすることを基本姿勢としています。なぜなら、それにより当社は「インサイダー」となり、当該企業の株式の取引が制限されるためです。ただし、当社は自らの意思でマーケットサウンディングまたは類似イベントへの参加を決定し、結果として重要な非公開情報とみなされる情報を受け取る場合があります。この決定を下せるのは、グローバル最高投資責任者、それぞれの地域および資産クラスのCIO（チーフ・インベストメント・オフィサー）、トレーディング責任者、またはそれらの者が権限を委任したアリアンツGIの上級投資専門家に限られます。当社は、そのような状況において、重要な非公開情報の保有および使用制限に関するあらゆる法規制を確実に遵守するために、ポリシーおよび手続きを策定・導入しています。

エンゲージメント 戦略

アリアンツGIは、サステナビリティを形にする存在となるという目標の一環として、アクティビスト的なサステナビリティ志向を持つエンゲージメント・アプローチを追求しています。当社は2022年にアプローチを進化させ、テーマ別エンゲージメントや協働エンゲージメント、および上場資産クラス全体でのエンゲージメントに焦点を当てました。また、当社が資産を大量保有する企業に対しては、リスクベースのエンゲージメント・アプローチを維持しました。

テーマ別エンゲージメント：当社は2022年において、特定の市場やより広範な市場におけるガバナンスのテーマに加え、サステナビリティの3つのテーマ（気候変動、プラネタリーバウンダリー、包括的資本主義）に沿った、テーマ別のエンゲージメント・アプローチを継続的に改善しました。当社は、市場またはポートフォリオごとの保有規模と、お客様または特定のファンドの優先事項に基づいて、エンゲージメントプロジェクトの優先順位を決定します。お客様との数多くの直接対話を通じ、お客様におけるエンゲージメントの優先事項やテーマ別の重点分野（特に、気候、生物多様性、人権の問題など）についての洞察が得られます。

協働エンゲージメント：エンゲージメントを拡大し、投資を行う主要市場での効果を高めるため、当社は2022年に、広範な協働エンゲージメントのための法的基盤を構築しました。当社は、注目度の高いインシアチブと提携し、気候変動、多様性、厳選されたガバナンスのテーマに重点的に取り組んでいます。

上場資産クラス全体でのエンゲージメント：当社のエンゲージメント活動の根幹がアクティブ株式運用会社としての伝統にある一方で、現在は特に債券におけるエンゲージメントも強化しており、コーポレート・クレジット戦略に特化した対話を促進しています。当社の戦略には、専用のトレーニングを通じて投資専門家のエンゲージメントに特化したスキルを強化することも含まれます。

当社は、講演や政策に関するエンゲージメントを通じて、対外的なエンゲージメント・アプローチの強化に努めています。

リスクベースのアプローチは、引き続き当社のエンゲージメント戦略の基本であり、当社が特定する重要なESGRiskに焦点を当てるものです。対象の選択は、市場ごと、ファンドごと、あるいは投資総額を考慮するなど、いずれの場合も当社のエクスポージャーの規模と密接に関係しています。エンゲージメントの焦点は、過去の株主総会で経営陣に相当数の反対票が投じられた事実や、標準以下の慣行と考えられるサステナビリティの問題などを考慮して決定されます。エンゲージメントは、サステナビリティやガバナンスに関連する論争が引き金となることもあります。当社の活動は通常、投資先企業の戦略、事業または財務のパフォーマンス、資本管理、コーポレートガバナンス、ESGRisk、インパクトに関連しています。このアプローチにより、当社ポートフォリオのESGRiskの軽減と、お客様や企業を包括的でサステナブルな変化に向けたパスウェイ（経路）へと導くことが、うまく両立できるようになります。同様に、当初から明確なエンゲージメント目標を設定することも可能となります。

直接的エンゲージメントはすべて、グローバル・コラボレーション・システムを使用して、透明かつ包括的な方法でアリアンツGI社内のステークホルダー間で調整が行われます。

当社のエンゲージメント活動では、モニタリング、フィードバックの実施、企業慣行への批判、変化の要求、そしてまれに公な形での介入が行われます。最も一般的なエンゲージメントは、戦略、事業および財務パフォーマンス、資本管理、コーポレートガバナンス、議決権代理行使などの問題、さらには投資先企業の環境・社会的慣行に関するものです。当社は、投資先企業とのエンゲージメントを非公開で行うことを希望します。しかし、非公開のアプローチを可能な限り実行しても進展が得られず、エスカレーションによってエンゲージメントの目的が最も達成できると判断した場合、エンゲージメント活動を公開でエスカレーションすることも考えます。

エンゲージメントには、次のようなさまざまな形式があります。

- 電子的通信
- IR担当、業務執行取締役および上級管理職、取締役会議長および非業務執行取締役、会社秘書役、ならびに事業部門、管理部門、サステナビリティ部門の責任者との対面会議および電話会議
- 取締役会および経営陣への正式な書簡
- 企業のアドバイザーやその他の外部ステークホルダーとの協議
- 決定された議決権行使内容の投資先企業への伝達
- 他の株主との対話と協働
- 株主決議案の（共同）提出、株主総会での発言、議決権行使内容の事前発表、メディアへのコメントなどによる公な形での介入
- 投資先企業の総会への出席（例外的）

アリアンツGIは、スチュワードシップを継続的なプロセスとみなしています。これは、エスカレーションが必要と判断される状況に限定されません。たとえば、対処すべき重大な懸念事項がない場合でも、当社は投資先企業の取締役会議長や非業務執行取締役との対話を行うつもりです。

アリアンツGIはアクティブ運用会社であり、エンゲージメントを、投資リスクを軽減し、企業パフォーマンスを向上させ、投資先企業の長期的な事業見通しをより確かなものとする手段と考えています。そのため、当社はエンゲージメントの成功は投資パフォーマンスの重要な一部と考えており、エンゲージメントおよび前向きなスチュワードシップの成果を記録し、保管しています。アリアンツGIのエンゲージメント記録と結果はすべて、グローバル・コラボレーション・システム上で利用できます。このため、ポートフォリオ・マネージャーとアナリストは全員、その情報を投資判断に反映できます。

スチュワードシップ活動の エスカレーション

エンゲージメントにおいて、企業が必ずしも当社の懸念に応じるとは限りません。あるいは、企業の行動が少数株主の利益に十分配慮していない場合もあります。投資先企業との標準的なやりとりでは懸念を解決できないと判断した場合、当社はより焦点を絞ったエンゲージメント・アプローチを開始し、エンゲージメントの目的を達成するためのエスカレーションを検討することがあります。どのようなエンゲージメント・アプローチを選択するかは、状況と懸念の性質によって異なります。エスカレーションの選択肢は相互に排他的ではなく、状況に応じて組み合わせが可能です。

最初は、経営陣との追加面談や、取締役会議長および非業務執行取締役とのより集中的な対話を通じて、エンゲージメントをエスカレーションするのが一般的です。当社は、コーポレートガバナンスと後継者育成、リスク管理と内部統制、監査の質、役員報酬、および長期的なサステナビリティの問題について、非業務執行の取締役会議長、筆頭または上級独立取締役、およびその他の非業務執行取締役と直接話し合うことを望みます。それにより、当社の懸念事項について責任ある立場の人の見解が得られるためです。また、直接の対話がうまくいかなかったと思われる場合、企業の取締役会に対して書面で当社の立場を強調することも検討します。

アリアンツGIは企業との直接のエンゲージメントを望みますが、直接のエンゲージメントが十分に進まない場合、または当社単独で効果的なエスカレーションを行うには当社の保有株数が不十分な場合は、次のようなその他の選択肢を検討します。

- 株主総会で決議に反対票を投じる（取締役に対する反対票を含む）
- 単一の争点で他の機関投資家と連携する
- 投資家、業界団体、その他の組織が、市場または業界全体の懸念に対処するために調整する協働エンゲージメントのイニシアチブに参加する
- 合併・買収（M&A）の場面などで、企業のアドバイザーを通じて懸念を表明する
- 株主総会で決議案を（共同）提出する
- 適宜、投資ポジションを縮小または解消する（投資ポジションの縮小または解消の決定はポートフォリオレベルで実施）

アリアンツGIは、他の建設的な対話手段をすべて使い果たした場合、最終手段として公式声明文の公表を検討します。

当社は、これらの手段を世界中の保有資産に広く適用しています。債券保有の場合、本質的に株主総会関連の行為は債券保有者には適用されないため、使えるエスカレーション手段はより限定されます。ただし、株式と債券の両方のファンドで同一企業の資産を保有している場合、資産クラス全体でより効果的なエスカレーションを行うことが可能です。

公な形の介入には、明確な社内エスカレーション手続きが設けられています。当社の公な形での介入の検討は、懸念の性質および望ましいエスカレーション行為に応じて、評判リスクに特化したプロセスに従い、上級管理職が適宜参加して行われます。当社の親会社であるアリアンツSEには適宜通知されます。

他の投資家との 集团的行動

変化へのパスウェイ（経路）を形作るには、他の投資家との協働エンゲージメントによって当社の影響力を高める必要があります。協働エンゲージメントは場合により、アリアンツGIがお客様のためのエンゲージメントの目的を達成する上で、最も効果的な手段となります。これは、投資先企業に重大な懸念があるものの、当社の保有株数が少ない場合や、個別のエンゲージメントを通じて株主の声を反映させるのが難しい場合には特に重要です。

アリアンツGIが集团的エンゲージメントを自ら開始するか、あるいは参加するかの決定は、次のような複数の要因によります。

- 具体的な懸念事項
- 当社が自ら影響力を行使できる範囲
- 他の投資家との信頼関係、見解や目的の一致
- 戦略とエスカレーションの可能性に関する合意
- 成功の可能性

アリアンツGIの集团的エンゲージメント活動は、市場濫用、インサイダー取引、コンサート・パーティー規制などについての関連法規および規制当局のガイドラインに従って行われます。

アリアンツGIは、投資家エンゲージメントを促進する複数の業界団体、投資家ネットワーク、その他の団体のメンバーであり、これらを必要に応じて活用します。アリアンツGIは常時、複数の投資家組織やプロジェクトに積極的に関与する場合があります。それらは、発行企業または公共政策レベルでの議論、情報共有、および集团的エンゲージメントを推進している、以下のような組織やプロジェクトなどです。

- フランス資産運用協会（Association Francaise de la Gestion Financiere）
- クライメート・アクション 100+
- 米国機関投資家評議会（CII）
- 欧州投資信託協会（EFAMA）
- 欧州レバレッジド・ファイナンス協会（ELFA）
- イタリア責任投資フォーラム（Forum per la Finanza Sostenibile）
- フランス社会的投資フォーラム（Forum pour l'Investissement Responsable）
- ドイツ投資信託協会（BVI）
- 香港投資基金公会（HKIFA）
- 気候変動に関する機関投資家グループ（IIGCC）
- 国際コーポレート・ガバナンス・ネットワーク（ICGN）
- 英国投資協会（IA）
- 英国投資家フォーラム
- 国連責任投資原則（UN PRI）

当社が参加する活動やさまざまなサステナビリティ・イニシアチブの概要は、「アリアンツGI・サステナビリティおよびスチュワードシップ・レポート 2022」をご参照ください。

公共政策に関するエンゲージメントを通じて、投資の長期的なサステナビリティとパフォーマンスに影響を与えうる問題を提起し、その問題に対処しようと努めることこそが、当社の受託者責任であると考えます。当社はそのアプローチにおいて、すべての地域と資産クラスにわたり足並みをそろえて発信し、外部のステークホルダーには、当社が関与する根拠や、投資家の懸念に彼らがどのように対処できるかを理解してもらうように努めます。このため、提案された公共政策に関するエンゲージメントはすべて、上級管理職が適宜参加して行われる評判リスクに特化したプロセスに従って検討されます。

議決権 代理行使

アリアンツGIの議決権代理行使へのアプローチ

株主総会での議決権行使は、お客様に対する受託者責任であり、アリアンツGIのアクティブ投資家としての役割とスチュワードシップのプロセスの中核をなすものです。アリアンツGIの目標は、当社が議決権を行使する権限を持つすべての投資先企業の株主総会で投票を行うことです。

アリアンツGIは、議決権代理行使に関する内容を含む、お客様との投資運用契約の条項に拘束されます。そのため当社は、議決権行使を控えたり、あるいはお客様からの委任がある場合に限り、機関投資家のお客様のポートフォリオにおける特定の保有銘柄や保有比率についてのみ議決権を行使したりする場合があります。アリアンツGIは、分離保管口座のお客様が議決権を保持する権利、お客様の議決権行使ポリシーに沿った議決権行使を要請する権利、または議決権代理行使およびエンゲージメント活動を第三者のサービスプロバイダーに委任する権利を尊重します。議決権行使の決定に影響を与えるような選択肢を、当社がお客様に個別で提供することはありません。最後に、アリアンツGIは、市場規制やカストディアン慣行により株式凍結（share blocking）が必要となる場合、または特定の市場やカストディアンの要件により議決権行使が現実的ではない場合は、議決権行使を見合わせる場合があります。

「グローバル・コーポレートガバナンス・ガイドライン」およびポリシーの見直し

アリアンツGIのコーポレートガバナンスと議決権代理行使に対するアプローチは、「グローバル・コーポレートガバナンス・ガイドライン」に定められています。本ガイドラインは、投資先企業におけるコーポレートガバナンスの慣行（取締役会の構成と実効性、株主の権利、資本に関する権限、役員報酬、外部監査の質、サステナビリティに関する事項など）に関する当社の期待を概説しています。

当社は、独自のコーポレートガバナンス・ガイドラインを全世界の保有資産に適用しています。当社は、コーポレートガバナンスと議決権代理行使に関する社内見解と立場を確立することに、多大な努力と注意を払っています。「グローバル・コーポレートガバナンス・ガイドライン」は、当社の議決権行使の意思決定を支援する、詳細な議決権代理行使ポリシーに支えられています。また、ガバナンスと議決権行使に関する重要事項、および潜在的な利益相反は、個々の場合に依りて議決権代理行使プロセスにより確実に評価されます。

アリアンツGIの「グローバル・コーポレートガバナンス・ガイドライン」は、当社のグローバル議決権代理行使委員会の承認を受けます。当社は、市場動向の変化、投票率、規制改正、お客様の期待水準の変化などを考慮し、「グローバル・コーポレートガバナンス・ガイドライン」および関連ポリシーを少なくとも年に1回見直します。当社は、議決権行使ポリシーの妥当性に関するサービスプロバイダーからのフィードバックを見直しプロセスに含めています。

ガイドラインおよび議決権行使ポリシーの変更にかかる提案には、全世界の当社拠点の株式ポートフォリオ・マネージャーとアナリストが関与する投資プラットフォームとの協議が必要です。投資チームからの見解は、コーポレートガバナンスに関するグローバルなベストプラクティスの基準と、それを現地市場でどのように適用し普及させるのがベストかという知識を組み合わせた、繊細かつ微妙なアプローチを生み出すことを可能にします。

議決権代理行使サービスプロバイダー

すべての議決権代理行使に関するリサーチおよび当初の議決権行使案は、当社独自の議決権代理行使ポリシーに基づいて作成されます。議決権代理行使に関するリサーチは、第三者の議決権代理行使サービスプロバイダーであるインスティテューショナル・シェアホルダー・サービスズ社（以下、「ISS社」）により提供されます。アリアンツGIは、ISS社が提供する電子プラットフォームを使用して議決権を代理行使します。さらに、サステナビリティ・リサーチ、コーポレートガバナンス指標、当社の分析と評価を補完する目的で使用するセルサイド分析など、他のさまざまな情報源も活用しています。

議決権代理行使および社内協議プロセス

グローバルに適用されるアリアンツGIの一般的なアプローチは、企業リサーチ、内部格付、企業エンゲージメントへの重要なインプットとして、コーポレートガバナンス分析を活用します。当社の投資プラットフォームは、ポートフォリオ・マネージャーとサステナビリティ・リサーチおよびスチュワードシップの各チームをリンクさせるプロセスを備えており、各当事者の協力を通じて、投資先企業におけるESGリスクおよび標準以下の慣行を浮き彫りにできます。

アリアンツGIは、議決権代理行使に関するリサーチと分析にリスクベースのアプローチを採用しています。これは、スチュワードシップ・チームが、当社にとって特に重要であり、かつ潜在的に高リスクと考えられるポートフォリオの構成銘柄（主に、当社の戦略全体での総ポジションが大きい銘柄、個々のファンドのコア保有銘柄、エンゲージメント活動を継続している企業など）について、株主総会での提案の検討に注力することを意味します。なお、当社の議決権代理行使ポリシーは、残る保有銘柄にも一貫して適用されます。

検討が完了すると、提案はグローバル・コラボレーション・システムに登録され、投資チームがアクセスできるようになります。つまり、投資チームは自らのポートフォリオの保有銘柄について争点となりうる提案を検討し、スチュワードシップ・チームと議論してさらなる分析を加えた上で、最終的な合意形成に至ります。ポリシーのオーバーライドに関するアナリストやポートフォリオ・マネージャーを交えた社内協議も、本システムを通じて行われます。当社の議決権行使に関する統計からも明らかに、当社は企業の経営陣や取締役会を無条件に支持するものではありません。

アリアンツGIは、議決権代理行使の決定に関して、統一された見解を持つことを目指します。このアプローチからの逸脱が許されるのは、投資チームによる議決権行使方針の違いが戦略固有の考慮事項によって正当化される、例外的な状況においてのみです。

アリアンツGIは、投資先企業に対し、株主総会のある程度前から当社とのエンゲージメントを持つことを推奨しています。当社は、株主総会で経営側の提案に反対票を投じるよりも、企業慣行の改善につながるしっかりとした対話を好みます。可能な場合は常に、争点となりうる問題について企業との話し合いを求めます。当社が企業に重要な出資を行っている場合、または企業に関与している場合、当社は経営側の提案に反対票を投じるか棄権するかを決定する前に、その企業に助言を行うように努めます。

セキュリティ・レンディング

セキュリティ・レンディングは、それが適切と判断される場合には、リターンを高める役割を果たせます。当社は、社内のセキュリティ・レンディング・デスク経由か第三者機関経由かにかかわらず、当社が運用する投資信託または機関投資家であるお客様の資産のために積極的にセキュリティ・レンディングを行うことはありません。ただし、機関投資家のお客様から、外部のエージェンシー・レンディングを通じて（たとえば、独立して選定されたカストディアン経由で）セキュリティ・レンディングを行うように当社に個別に要請された場合、当社は業務プロセスの枠組みの中でこの活動を支援するよう努めます。

スチュワードシップ 活動の報告

アリアンツGIのスチュワードシップ活動は、お客様と、その利益のために行われます。アリアンツGIは、委任状による議決権行使活動およびお客様のために行われる意思決定において、高い透明性を確保することに努めています。

アリアンツGIは、スチュワードシップおよび委任状による議決権行使活動について、以下の通り報告しています。

- 当社の委任状による議決権行使の記録は、投資先企業の各株主総会の翌日に継続的に開示されます。経営陣に対する議決権行使の方向性と根拠を含む、全議決権行使の開示は、当社のウェブサイトでご覧いただけます。
- アリアンツGIは、2020年以降、持続可能な投資に関する標準的な月次報告書を顧客に提供しています。投資戦略に応じて、

お客様はサステナブル投資を商品ベンチマークと比較して確認することができます。アリアンツGIのレポートには炭素排出量に関する情報が含まれており、投資家はポートフォリオの炭素排出量を絶対値および相対値で確認できるほか、ファンドに関連するエンゲージメント活動の概要も把握することができます。

- ファンド別の委任状投票活動レポートは、各自の要件に沿った頻度で受領を希望する機関投資家に提供されています。
- すべてのエンゲージメントの記録は、アナリストやポートフォリオ・マネジャーによる他のリサーチ・ノートやコメントとともに、当社のグローバル・コラボレーション・システムで管理されます。当社は、顧客からの要請があれば、そのファンドのスチュワードシップ活動の概要と事例を、臨時に、また年次レビューの際に提供しています。

保証

アリアンツGIでは、議決権代理行使のプロセスに関する独立保証は、以下の部門および活動により実施されます。

内部監査は、アリアンツGIの持株会社であるアリアンツ・アセット・マネジメントAGの内部監査部門が行います。内部監査部門の主要目的は、年次監査計画を策定し、リスクとプロセスに基づく監査アプローチを適用することにより、内部統制の枠組みの適切性と有効性を独自に調査、評価、報告することです。議決権代理行使は年次監査計画に定期的に組み込まれています。監査の範囲は通常、本文書で述べられている議決権代理行使のあらゆる側面と構成要素、および関連ポリシーを網羅しています。さらに内部監査は、統制環境の適切性と有効性について独立した評価を提供し、必要に応じてその改善を勧告します。

Contact for matters relating to proxy voting and engagement:

Dr Antje Stobbe
Head of Stewardship
Tel: +49 (0)69 24431 2630
Email: antje.stobbe@allianzgi.com
www.allianzglobalinvestors.com

Allianz Global Investors GmbH

Seidlstrasse 24–24a
80335 Munich
Germany

allianzgi.com

本ポリシーステートメントは英語版が正文であり日本語版は参考情報です。これら両言語版の間に齟齬がある場合には英語版が優先されます。

Investing involves risk. The value of an investment and the income from it will fluctuate and investors may not get back the principal invested. Past performance is not indicative of future performance. This is a marketing communication. It is for informational purposes only. This document does not constitute investment advice or a recommendation to buy, sell or hold any security and shall not be deemed an offer to sell or a solicitation of an offer to buy any security.

The views and opinions expressed herein, which are subject to change without notice, are those of the issuer or its affiliated companies at the time of publication. Certain data used are derived from various sources believed to be reliable, but the accuracy or completeness of the data is not guaranteed and no liability is assumed for any direct or consequential losses arising from their use. The duplication, publication, extraction or transmission of the contents, irrespective of the form, is not permitted. This material has not been reviewed by any regulatory authorities. In mainland China, it is for Qualified Domestic Institutional Investors scheme pursuant to applicable rules and regulations and is for information purpose only. This document does not constitute a public offer by virtue of Act Number 26.831 of the Argentine Republic and General Resolution No. 622/2013 of the NSC. This communication's sole purpose is to inform and does not under any circumstance constitute promotion or publicity of Allianz Global Investors products and/or services in Colombia or to Colombian residents pursuant to part 4 of Decree 2555 of 2010. This communication does not in any way aim to directly or indirectly initiate the purchase of a product or the provision of a service offered by Allianz Global Investors. Via reception of this document, each resident in Colombia acknowledges and accepts to have contacted Allianz Global Investors via their own initiative and that the communication under no circumstances does not arise from any promotional or marketing activities carried out by Allianz Global Investors. Colombian residents accept that accessing any type of social network page of Allianz Global Investors is done under their own responsibility and initiative and are aware that they may access specific information on the products and services of Allianz Global Investors. This communication is strictly private and confidential and may not be reproduced, except for the case of explicit permission by Allianz Global Investors. This communication does not constitute a public offer of securities in Colombia pursuant to the public offer regulation set forth in Decree 2555 of 2010. This communication and the information provided herein should not be considered a solicitation or an offer by Allianz Global Investors or its affiliates to provide any financial products in Brazil, Panama, Peru, and Uruguay. In Australia, this material is presented by Allianz Global Investors Asia Pacific Limited ("AllianzGI AP") and is intended for the use of investment consultants and other institutional / professional investors only, and is not directed to the public or individual retail investors. AllianzGI AP is not licensed to provide financial services to retail clients in Australia. AllianzGI AP is exempt from the requirement to hold an Australian Foreign Financial Service License under the Corporations Act 2001 (Cth) pursuant to ASIC Class Order (CO 03/1103) with respect to the provision of financial services to wholesale clients only. AllianzGI AP is licensed and regulated by Hong Kong Securities and Futures Commission under Hong Kong laws, which differ from Australian laws.

This document is being distributed by the following Allianz Global Investors companies: Allianz Global Investors GmbH, an investment company in Germany, authorized by the German Bundesanstalt für Finanzdienstleistungsaufsicht (BaFin); Allianz Global Investors (Schweiz) AG; Allianz Global Investors UK Limited, authorized and regulated by the Financial Conduct Authority; in HK, by Allianz Global Investors Asia Pacific Ltd., licensed by the Hong Kong Securities and Futures Commission; in Singapore, by Allianz Global Investors Singapore Ltd., regulated by the Monetary Authority of Singapore [Company Registration No. 199907169Z]; in Japan, by Allianz Global Investors Japan Co., Ltd., registered in Japan as a Financial Instruments Business Operator [Registered No. The Director of Kanto Local Finance Bureau (Financial Instruments Business Operator), No. 424], Member of Japan Investment Advisers Association, the Investment Trust Association, Japan and Type II Financial Instruments Firms Association; in Taiwan, by Allianz Global Investors Taiwan Ltd., licensed by Financial Supervisory Commission in Taiwan; and in Indonesia, by PT. Allianz Global Investors Asset Management Indonesia licensed by Indonesia Financial Services Authority (OJK).